

山口 敏子 議員

清流クラブ

南海トラフ巨大地震、津波 災害時の備えについて

問

南海トラフの巨大地震について市町村別の被害想定が発表された中、避難所の備品について尋ねる。

- (1) 弥富市南部地区防災センター及び市内の避難所に備えてある非常用備蓄食品の今後の予定は。
- (2) 歯の弱い人、子供にも食べやすい缶入りパン、10年長期保存のできる水、野菜不足を補うための野菜ジュース缶などは避難生活の中でこそ必要な食品だと考えるがリストに入れる予定はあるか。
- (3) 東日本大震災の避難所

でトイレを我慢し体調を崩してしまうことがあったと聞く。非常用トイレに対する備えはどのように考えているか。

- (4) 南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強で、87分後には4メートルの津波が来ると新聞等で報道された。発生が昼間の場合、避難所になっている小・中学校には、管理者がいるが早朝と夜間の場合、鍵の管理はどうしているのか。
- (5) 鍵の管理を区長、区長補助員にお願いすることはできないものか。

経費を考えると大幅に備蓄量を増やすことは難しい

答 防災安全課長

- (1) 現在の食糧備蓄品に関しては、原則火が使えないことを前提に選定しており、乾パンとアルファ米、アルファ米についても水で戻せるもの。引き続きこの2品を備蓄していく。
 - (2) 歯の悪い方等に、乾パンに比べ食べやすいパンを備蓄するということは一つの課題であるが、現段階でいろんな種類を揃えることは困難である。
- 非常食の賞味期限は3年から5年であり、経費を考えると、大幅に量をふやすといったことも難しい。
- 家庭備蓄を呼びかけ、避難の場合は、非常持ち出し袋などに必要品を持って避難してほしい。
- (3) トイレについては、既設のトイレを利用するとう考えである。
- そうした際に使用できる便袋を24年度に5千個購入

し、25年度も同数購入の予定である。さらに、和式トイレにかぶせ洋式トイレとして利用可能な簡易トイレを50セット購入予定である。

避難所におけるトイレ問題は、最重要課題の一つと思っている。

- (4) 現在、風水害は、事前に職員を派遣し職員において施錠を解除します。

巨大地震が発生し、万一、堤防が機能せず津波が来る場合は、建物の一部を破壊し、建物の中に入らざるを得ないと考えている。

答 市長

- (5) 区長、区長補助員に公の施設の鍵を持っていたかどうかは大変な責任につながるわけであり、全て職員で対応する。それぞれの地域において、複数の職員が鍵を持ち、施錠を解除する考えである。

愛知黎明高等学校の校名変更は市に相談はあったのか

問

この4月より弥富高等学校

私立高校であり事前の相談はなかった

答 教育部長

- (1) 校名変更については、愛西学園創立50周年記念事業の一環のものであると同時に、私立高校の問題でもあることから校名決定に際し、市に対し事前の相談はなかった。

なお、公募の結果、高校側の理事会において、学校法人愛西学園愛知黎明高等学校に決められたと聞いている。

- (2) 学校側も検討したが、バランス等の問題もあり、見送られたと聞いている。